

関係人口の創出・拡大の取組を通じたふるさとづくりの推進について

- ふるさとづくりとは、「こころをよせる そこにかかわる」、この繰り返しから生まれる
- そのため、地域への関心を持ち、そこに関与していく地域内外の人々(関係人口)が、ふるさとづくりにとって極めて重要
- 関係人口を創出・拡大し、ふるさとづくりを推進するためには、以下の3点が重要

1. 都市に向けての地方からの情報発信

○地域の情報に触れ、その地域に「こころをよせたい」と考えるきっかけをより多くの人々に提供する

<具体例>

- ・地域の特産物や伝統工芸品の購入、ふるさと納税、キャンプや観光などの一時的な滞在(地域資源の魅力づくりが必要)
- ・メディア・SNSの活用



青森県十和田市
(南部裂織保存会)

徳島県上勝町
(キャンプ場)



2. 都市と地方のコミュニケーション

○共通の話題を作ること、都市と地方のコミュニケーションを活発化し、「そこにかかわりたい」という意識を醸成する

<具体例>

- ・都会の若者と地方の生産者が東京で一緒にファーマーズマーケットを開催
- ・自然を楽しみながら一緒に河原の清掃活動を実施



鹿児島県鹿屋市
(やねだん)

静岡県川根本町
(農家民宿とそれを支援する方々)



3. 都市と地方をつなぐ人づくり

○「そこにかかわる」ことが継続されるために、関係人口を受け入れ、地域になじませることができる人づくりを行う

<具体例>

- ・地域内外の人々をつなぎ、地域のモチベーションを向上させるコーディネーター、プロデューサー的な人材
- ・地域おこし協力隊や地域おこし企業人の受入れ、活用



島根県雲南市
(まちづくりのためにチャレンジする若者)

